

# あったか通信

7月号

プール遊びでシャワーの順番を待つ3歳児との会話から・・・

園長：「楽しそうだね！」

A児：「わあー！冷たいわ！」

B児：「聞いて、聞いて！」「虫さん、2人いたよ！」

園長：「ええ！？虫さん2人？」

B児：「・・・虫さん、ふたつ、いた」

園長：「どんな虫さんかな？」

C児：「これ、だんごむしやで」

園長：「そう、だんごむしか。二匹いたのでしょうか？」

B児：「ちがう、ふたり、いた」

園長：「B君、お友だち2人で見つけたから、2人と思ったのやね。」

B児：「うん」

園長：「虫はね、2ひき、と数えるの」

B児：「ふーん」

園長：「わかった？」

B児：「うん、わかった」



3～4歳くらいになると、いろいろな言葉をおぼえて、場面にあった言葉や言い回しを使うようになってきますが、その区別は難しいものですね。

子どもは日々さまざまなものであい、場面ごとに体験しそれらを覚えていくのです。子どもがしっかり納得するまで向き合い話し合う姿勢の大切さを教えられます。